



『気づき』⇒『繋ぎ』⇒『支援』の流れ

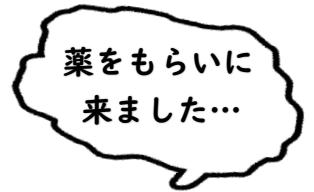


1 『気づき』：薬剤師

薬局に気になる高齢者

が来局されたら、『認知症気づきの芽シート』

を参考に認知症の症状に気づく。



2 『繋ぎ』：薬剤師



最近物忘れがひどくて...不安なことがあるので相談に乗ってほしいです包括を紹介して下さい。

よく解らないです...結構です...



注1：包括より聞き取りをお願いしたいことを『認知症気づきの芽シート』に記載しています。

例)：介護認定の有無、CM・包括などの支援者がいるか等

注2：地域包括支援センター一覧をご活用ください。同意を取られた用紙はコピーを保管下さい。

気になる高齢者に対しまずは、日頃、困っている事、不安な事が無いか話しかけましょう。

包括に繋ぐことも意識し注1いろいろな話をしましょう。

地域包括支援センターの紹介注2を行い、本人の了解のもと包括に相談を行います。

※中には必要性を感じず、理解もされず、拒否される方もいらしゃると思いますが認知症の早期発見・支援の取り組みであり「気になる高齢者」ということでご連絡ください。

3 『繋ぎ』（相談）：薬剤師

高齢者氏名、気づきの芽シートの内容、その他、聞き取った内容を包括へご相談ください。

※地域包括支援センターはいただいた相談内容、個人情報を支援を行う以外に他に漏らすようなことはありません。

はい。地域包括支援センターです。

気になる高齢者の方がいらっしゃるんですが

地域包括



④ (介入前) 対応の検討： **包括** + **他機関**

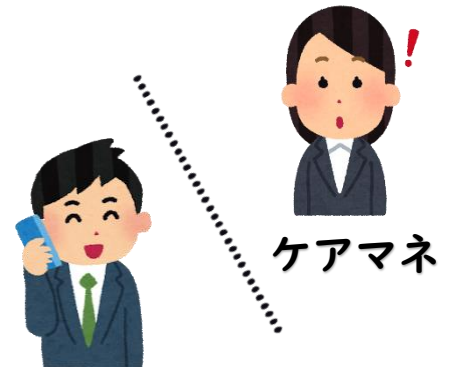
①：介入の了解を得られた方（支援者無し） 注3

介入の了解を得られ方にはご連絡し訪問等を行い、相談対応します。



②：介入の了解を得られた方（支援者有） 注3

ケアマネや包括の関りがあるという情報が得られた場合、支援者に対し連絡を行い後方支援が必要か検討を行います。



注3：同意を取られた用紙の保管については本人に包括が介入でき

薬剤師へ報告をあげた時点で破棄して下さい。

③：介入の了解を得られない方

※介入の了解を得られなかった方には地域の民生委員さん等に関りが無いか確認し、必要であれば同行訪問等、本人が安心していただき介入できるように包括内で介入方法を検討します。



※介入前に情報共有、介入方法等を本人に関わっている方々と検討する必要がある場合、**個別支援地域ケア会議**を利用します。

5 (介入後) 対応の検討：包括＋他機関



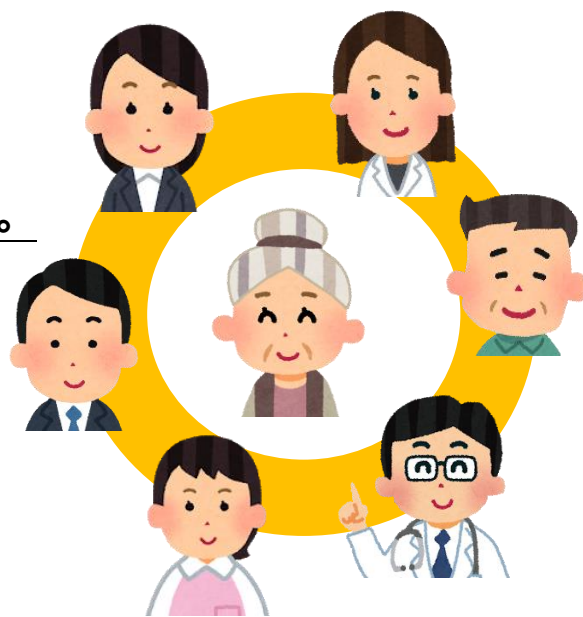
※介入後本人、家族からの情報を整理し、
課題に対しての支援内容を検討します。

※多者との情報共有、支援内容の検討が
必要な場合個別支援地域ケア会議を利用
します。



6 支援：支援者

介入後に検討した内容に沿って支援を行う。



注意

※包括は薬剤師に対し報告を行うことを徹底する。